

# 一般質問

## 市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、42項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

### 会議録の閲覧と検索



質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。>第2回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。>会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

### インターネット中継



本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。>開催日に生中継を配信します。>録画中継は、本会議当日の4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から配信します。>スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

## 5 窪田知子

(公明党)

子ども・若者・高齢者の健康支援について

産婦人科・小児科オンライン健康相談の事業内容を問う。  
妊産婦、子育て家庭や15歳以下の子も悩みを相談できます。相談体制としては、①メッセージによる24時間いつでも相談②1枠10分予約制のチャットまたは動画通話に

## 8 新井ともはる

(無党派)

いつつ啓発を進めます。子どもたちの命を守る！

避雷針の設置状況を問う。市内小中学校の安全対策は？  
避雷針未設置校への対応を問う。  
落雷事故の防止に向け、各学校の安全教育に、関係部署とも連携しながら、実際の気象状況や各学校の実態に応じた適切な対応を図るよう努めます。

## 11 岡田じゅん子

(日本共産党)

マイノリティが生きやすい社会は、みんなが生きやすい社会

居場所事業虹友カフェ、性的マイノリティ当事者のためのにじいろ相談、ジェンダー平等条例の施行に伴う、パートナーシップ制度を進めてきました。トランスジェンダーへの尊重とトイレなど、プライバシーな場を不安なく利用できる安全安心の確保の両立が課題と認識しています。

## 1 伊藤あゆみ

(自由民主党)

壮大な志を伴って市長公約について問う

(仮称)文化芸術基本計画、条例制定に係る市の見解を問う。  
令和8年度中に地域に根差した伝統文化、市に残る貴重な歴史的文化など、日野市らしさを取り入れた計画の策定、条例の制定を目指す。  
手話言語条例制定に向けた市の見解を問う。  
さまざまな障害種別の方に対応する情報保障に関するガイドラインの策定に取り組む方針です。条例の制定は、当事者や関係団体の意見を伺い、検討していきます。  
プレコンセプションケアを学校教育の中に導入できないか。  
国や都の動向を注視しつつ、先進的な事例に取り組み自治体の情報収集を行い、教育委員会と連携を取り、調査研究を進めます。

## 3 白井なおこ

(無党派)

ルールに則った公平な選挙運動を

選挙運動における公平性の担保は誰の仕事か。  
公平性は候補者や応援者に委ねられており、明るく節度ある選挙運動をお願いしています。  
新市長の教育に対する考えを問う。  
教育、子ども施策で大切にしたいことは。  
選挙運動における公平性の担保は誰の仕事か。公平性は候補者や応援者に委ねられており、明るく節度ある選挙運動をお願いしています。  
第4次日野市農業振興計画であげた、農地公有地化の先の構想を問う。  
財政負担への慎重な検討が必要で、具体的な指針や基準は準備できていません。他の計画との整合性も図り検討します。

## 6 佐藤琢磨

(無党派)

古賀新市長の基本方針と即時性と持続性のある対応について

マンホールトイレの整備方針を問う。  
市内小・中学校すべての指定避難所に配備できるように関係各課と調整を進めており、今年度は整備設計を予定、令和8年度以降に計画的に整備していく予定です。  
「摩の米蔵」とかつては呼ばれていた日野の米政策について  
米の生産状況は。令和4年の調査では、平成26年と比べて収穫量が半分に減少しています。  
農業振興事業の現状と課題を問う。  
農地の減少が課題であり、高齢などで耕作できなくなった所有者に、売却以外の選択肢として、貸借して活用する方法があることを周知し、農地の保全に取り組めます。

## 9 ちかざわ美樹

(日本共産党)

修学旅行・学用品費保護者負担ゼロ、夏休み給食、「朝の小さい壁」解消、子育てするなら日野がいー！と言われるために

教育費の公費負担拡大の必要性について、市の見解を問う。  
学用品などを市単独で全額を負担することは困難です。教育費は、さまざまな支援策や公費負担を実施しており、今後も他自治体の動向に注視し、支援を必要とする世帯の負担軽減に努めます。  
「働く」ためのバリアをなくそう。重度障害者等就労支援事業を日野市でも  
事業の実施にあたっては、市の限られた予算や人員、ヘルパー事業者の提供体制、他市の状況なども考慮し検討を進め、今後も障害特性に合わせた課題に取り組めます。

## 12 峯岸弘行

(公明党)

市の財源確保策についてクラウドファンディング・遺贈など

ふるさと納税の有効な寄付メニューを問う。  
多く選ばれている返礼品は、洋菓子類で全体の約85%を占めています。  
猫にやさしいまちづくりについて  
地域猫セミナーの開

## 2 吉澤あかね

(無党派)

「薬に頼らない社会」の実現に向けて、ポリファーマシー対策の現状と今後の取組について

医療従事者と協力した地域ぐるみでの意識改革の可能性を問う。  
薬の適正使用やポリファーマシーの周知啓発は、医師会や薬剤師会との連携を検討します。  
投票率が上がれば政治は変わる！投票率向上に対する取組状況について問う。  
既存の啓発活動に加え、新成人へのグリーンディングカード送付などさらなる啓発に努めます。  
データセンター建設について 市民の健康と日野市の自然環境は守られるのか  
自然環境など日野が持つ豊かさを次世代に引き継ぐことを念頭に、事業者に配慮を要請します。

## 4 中野あきと

(日本共産党)

市民の切実な願い、市政の重要課題にどう向き合っていくのか

物価高騰から市民生活を守る施策を問う。  
市内経済の活性化を目的に、キャッシュレス決済サービスを利用したポイント還元事業を実施する予定です。今後も、国の交付金などの財源を  
活用しながら、国や都の施策の動向に注視し、これまでの施策をベースとした適切な支援策を引き続き検討します。  
都市計画道路3・4号古賀新市長の基本姿勢を問う。  
休止から約5年が経過し、事業計画や事業費の再精査が必要です。その中で、事業費の圧縮、国や都の補助金などの財源確保、竣工後の維持管理費の軽減など、あらゆる市の財政負担軽減の可能性を検討します。

## 7 森沢美和子

(チームみらい)

包括的から包括的な市民サービスを断つ

出生届受理後、社会保障制度などへつなげる手段を問う。  
母子手帳交付時に知っ得ハンドブックを、出生届受理時にチラシを配布しています。児童手当・医療費助成では、個別に申請資格を確認するな

## 10 鈴木洋子

(自由民主党)

高齢者支援・子育て応援は最優先で

経済的な不安を抱える高齢者への支援は。相談者の状況に応じて支援策を案内し、考えに寄り添った対応で経済的不安の軽減・解消に努めています。  
増加するひとり親家庭の貧困への支援は。各種手当などの経済的支援と相談支援を実施

## 13 中嶋良樹

(チームみらい)

市民プールの建替再整備について

まち全体がスポーツに親しめる場を目指して低・未利用地や既存ストック活用などで充実を図ることへの市の見解は。  
充足していないスポーツ種目の場の量的、質的な充実については、所管する庁内関係部署とも連携を図り、対応します。U30世代の投票率向上に向けて